

実りと活力創造学部 「担い手安定経営を阻害する有害鳥獣対策」について

①参加しやすい環境について

- ・ 6月、8月は猪が出る時期であり、11月頃から開始して、次の出てくる時期に備える
- ・ 時間については半日ぐらいで、座学なら夜間でもいい
- ・ 近く（芸北）で開催してほしい
- ・ 受講してほしい人のターゲットをしぼる（年齢、地域から何人など）
- ・ 就農者や営農法人などで特に若い人に対して参加への声掛けをおこなう
- ・ 短期間で習得できるプログラム

②プログラム内容について

- ・ 雪が多く、倒れてしまうため、雪でも倒れない柵の設置方法
- ・ 先進的な取り組み事例、電気柵の効果的な張り方や箱なわ技術について
- ・ 動物の特性・習性などを踏まえた対応方法
- ・ 内容の濃い、高度なレベルのプログラムに参加したい
- ・ 捕獲後にジビエに活用するなど、捕獲だけでなく利用方法を含めた内容
- ・ 現場の意見も参考にしてプログラムに反映させてほしい

③その他

- ・ 法人に任せている人が多いので、法人の人に参加を呼び掛けてみてはどうか
- ・ 捕獲した後の処理施設がないため、町外の施設まで持っていつている
- ・ 免許を取得する人、餌付けをする人などみんなで管理、取り組みができるようしていき、1人に負担が集中しない方法が良い
- ・ 狩猟期間が長くなる方法はないか
- ・ プログラムの目的は駆除を目的にしているのか
- ・ 駆除後の報酬増も考えてもらいたい
- ・ 具体的にテーマ（プログラム）が出ているので良いと思う
- ・ 北広島町全体をカバーできる班（組織）を作っていきたい
- ・ 受講した人がリーダーとなり地域を引っ張ってもらいたい